

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 雄一郎
編集人 池田啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2013/9・15

No. 1843

2面

第41回兵庫県学校事務研究会

第2回支部三役合同会議

秋季から年末にむけたとりくみについて討議



8月30日から2日間、ラッセホルで兵庫組第2回支部三役合同会議が開催された。

冒頭、泉執行委員長は、同月に派遣されたフィンランド・OECD教育文化交流団の報告(要旨掲載)をおこない、「今会議での討議をふまえ、2013対県確定闘争、兵庫における教職員評価・育成システムの定着、久元・神戸市長選、もりかみ・南あわじ市議選、伊賀・豊岡市議選をはじめ、県内各地での兵教組運動の前進にむけたとりくみをすすめて頂きたい。本部執行部も、各支部、各専門部と一緒に、とりくむことを誓う」とあいさつした。

川原書記長より、経過と情勢の報告があり、秋季・年末闘争へむけ、具体的なとりくみの方針が決定された。

報告要旨



泉雄一郎 執行委員長

フィンランドの教育制度

フィンランドは、2000年から始められたOECD(経済協力開発機構)の学習到達度調査(PISA)で常にトップクラスを占めている国である。その教育政策や実態について理解を深めるべく、フィンランド・OECD教育文化交流団を派遣した。

フィンランドでは、年齢性別、居住地、経済状況、母国語などに関わらず、すべての国民に教育を受ける平等な機会を提供することが、教育政策の中心基盤におかれている。そのため、就学前教育、基礎教育(日本の義務教育)、後期中等教育(同、高校)は、無料の原則がとられている。学費、福祉サービス、給食は、これらの教育期間において無料で提供され、必要な教材や教科書も就学前から基礎教育までは無料である。また、基礎教育の期間の通学費に関しても、教育提供者各自治体が負担することになっている。

ゆとりを持って生き生き学ぶ

フィンランドの教育現場を見て



兵庫教育文化研究所 事務局長 杉浦光生さん

今回、訪問した学校はヘルシンキ郊外、エスプー市にあるマトリデン学校。訪れたときは休み時間で、子どもたちは目を輝かせてグラウンドで遊んでいたが、チャイムが鳴ると走って校舎入口に整列し、クラスごとに静かに入室していった。

職員室には教職員の机はなくソファやコーヒーマーカや書籍があり、日本とは違いとても片付いている。また、低学年用の体育

「教育機会」と「学習の結果」のどちらもが「平等」になるような教育を

館には更衣室とシャワールームがあり、1年生でも授業を終えるとシャワーを浴びて着替えをするそうだ。教室は日本のものより小さかった。それもそのはずで、机の数は20に満たない。全室冷暖房完備でスマートボードやコンピュータは常設されている。子どもたちの発表の声は小さかったが、その声を聞くことが、その姿がそこにあり、落ち着いた雰囲気であった。

授業では教員はあまりものを言わずに見守っている時間が多い。はじめは物足りなさを感じたが、ペアや少人数で子どもたちが話し合いながら授業が進み、子どもたちが自ら課題解決しようとする姿が見られた。



技術・家庭科の授業ではさらにクラスを半分に分けて10名ずつで技術と家庭科の授業を受けていた。技術は木工であったが、皿やボウルやスプーンなど一人ひとりが制作するものが違っていた。家庭科では「自分の服を作ろう」というテーマでデザインからすべて自分で考えてつくるものだった。一人ひとりの思いを尊重した課題になっている。

また、教員と1対1で学習する児童の授業も見せてもらった。インクルーシブを基本としているが、児童生徒が授業についていけない場合は、分かるようになり、教員が支援し、理解できたら元のクラスに戻る体制ができていた。

この教育文化交流を終えて、私の教育観が大きく変わろうとしている。図書館へ行っても、今までは見向きもしなかった「フィンランドの教育」に関する本が目に入るようになってきた。と同時に、それらの本を読めば読むほど、今、我が国が進められようとしている教育政策が、フィンラ



このような教育制度となつたのは、1990年代初頭から始まった教育改革によるところが大きい。すべての子どもに平等に教育を受ける権利を保障し、出来る限り「落ちこぼれ」を出さず、質の高い教員を養成することを大きな目標とした。

これに対して日本はどうだろうか。民主党政権のもとで実質無償化となった高校授業料について、安倍政権は、これに所得制限を設

ける方向を打ち出している。加えて、日本では、小泉構造改革路線以降、子どもの貧困や経済格差の拡大が深刻化している。自民党の衆参両院における圧倒的多数という選挙結果によって、小泉構造改革路線を引き継ぐ安倍政権の市場原理主義的な経済運営や非正規雇用の増加、これに伴う賃金抑制により、雇用労働者の賃金はよりいっそう下がり続けることが危惧される。収入が少ないのに、教育費など高い支出を余儀なくされ、保護者の経済的余裕はなくなる。経済格差が教育格差を引き起こすという、マイナスのスパイラルがさらに拡大することが心配される。

PISA調査によると、フィンランドでは、子ども間、学校間、家庭環境の違いによる学力の格差が、他国と比較した場合、断然少ない。これは、「教育機会」と「学習の結果」のどちらも「平等」になるような



教育をつくりあげてきた成果の表れである。また、学校では、子どもを成績や障害によって選別することは好ましくないと考えられており、16歳までは、他人と比較するためのテストはなく、長期的な能力別指導や順位づけも否定されている。一方で、いわゆる低学力の子どもへの支援は徹底的におこなわれ

る。フィンランドの教育は徹底した修得主義となっており、就学前教育の段階で子どもが習熟度が不十分だと判断された場合、保護者や就学前教育の教員と話し合った上で、小学校の入学を1年遅らせることができる。同様に、中学校を卒業しても、まだ希望する高校に進学する学力に満たないと判断された場合は、「10年生」という特別プログラムで、もう1年学習することが出来る。

授業形態は、グループ学習、少人数学習、個別指導が多く、子どもの自主性や協調性が重視されている。その中で、将来に役立つ能力を総合的に育む、助け合いの人間関係づくりを養うことなどが大切にされている。教員はサポート役で、学びの中心はあくまで子どもである。

「詰込み型」にシフトしようとしている今だから、また、度重なる全国学力・学習状況調査により、知らず知らずのうちに「詰込み型」に踏み込みようになる今だからこそ、「生きる力」を子どもたちに

配される。安倍政権の「自助」「自己責任」の考え方は、強い者がより強く、弱い者がより弱くなることになり、この格差が拡大していくことにはほかならない。非常に厳しい情勢にあっても私たちは、「教育は未来への先行投資」であることとを信じて、あきらめずに運動をすすめていこう。

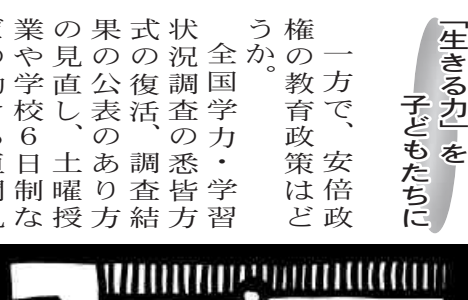
「生きる力」を子どもたちに

一方で、安倍政権の教育政策はどうか。

全国学力・学習状況調査の悉皆方式の復活、調査結果の公表のあり方の見直し、土曜授業や学校6日制などの動きも垣間見

られ、詰込み教育の復活が懸念される。成果主義、競争主義の考え方は、フィンランドの教育理念とは、まったく正反対の考え方だ。

安倍政権の教育政策が「詰め込み型」にシフトしようとしている今だから、また、度重なる全国学力・学習状況調査により、知らず知らずのうちに「詰め込み型」に踏み込みようになる今だからこそ、「生きる力」を子どもたちに



「組体操」
猪名川町楊津小学校
五年 飯田侑司

(こどもの詩と絵 第33集より)

『子どもの学習権保障をめざす学校事務の創造』

豊かな教育の創造をめざし、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、職務の確立をすすめよう

第41回兵庫県学校事務研究会

8月8日から2日間にわたり、第41回兵庫県学校事務研究会がラッセルホールにて開催され、県内各地より643人が参加した。はじめに中央情報報告、次いで講演がおこなわれ、その後3つの分科会に分かれ、討議をおこなった。

中央情報報告

日教組事務職員部長の渡辺春彦さんより、私たちがとりまく諸課題について報告があった。

まず、東日本大震災後の現状と課題について日教組事務職員部は完全復興まで支援を続ける力強く述べた。

講演

兵庫教育文化研究所・学校行財政部会研究所員の奥谷達哉さんと、中井伸幸さんを講師とし、『子どもの教育条件整備を考える』と題した講演があった。



中井伸幸さん (美方支部)



奥谷達哉さん (水上支部)



賃金に関しては、国6級について、55歳超えの昇給停止、昇格制度の見直しや国家公務員給与削減の地方公務員への波及問題について詳細に報告された。

定年延長については、定年の段階的延長と年金との関係、再任用の義務化について、民間と比較しながらの説明があった。

最後に、事務職員は学校に位置づく職員として、任用一本化とならないようアンテナをしっかりと張りつとくみをしていきたいと締めくくった。

このレポートは、普段意識されにくい「学校事務領域」に焦点を当て、すべての教職員の協力・協働を基盤とした子どもの教育条件整備をすすめるための提言がまとめられている。「教育条件整備とは、『子ども的人格・才能並びに精神的及び身体的な能力をその可能な最大限まで発達させる』ことができる教育が受けられるよう、その環境を整備することである」とい

う視点について説明をおこなった。教育条件整備の要素である「人」「物」「金」「情報」をつなぐための重要な要素が教職員自身であり、子どもの教育に直接影響を及ぼしていると述べ、教職員の協力・協働が教育条件整備の基盤となると提起した。

分科会報告

第1分科会

『学校事務職員の仕事を考える』

洲本支部

洲本市では、新しい給食センターの開設に伴って各学校の会計原則が一本化されるが、その際に仕事上の大きな変動が予想される。センター方式への一本化の経緯とそこから生じる課題を提示し、未納金問題の解決や将来的な学校給食費の

西宮支部

『学校給食費徴収システムに他の学校徴収金の徴収も組み込み、今年度より稼働するよう取り組んでいくが、システムの不備等から各学校で混乱が発生する状況になってしまった。今後の課題解決のために、システム稼働の経過と現状が報告された。』

11・12年度のとおりくみ・成果について報告された。これまで学校事務職員が学校徴収金に関わりを持っていなかった。そのため、まず学校徴収金の適切な執行と処理について現状把握から始めたが、「佐用町小中学校徴収金事務取扱要綱」に沿って適正に運用することで、徴収金の基準や様式の統一等、多くの課題を解決することができるとわかった。

第2分科会

『事務労働のあり方・研修について』

佐用支部

2012年度「事務支援ソフト」テスト校として指定された2校の実践報告があった。事務職員が中心となつて準公費会計の事務改善にとりくみ、その結果学校業務改善に大いに貢献できたこと紹介された。

第3分科会

『組織強化と事務職員制度の確立をめざして』

水上市支部

初任者指導事務職員が抱える不安から課題を推測し、指導・支援すべき問題を見直した。その上で実施した、「学校運営フォロワーアップ講師による支援体制」学習会やアンケート、および今後の取り組みについて報告された。

伊丹支部

『長年採用がなかったこともあり、初任者指導事務職員制度の認識も薄かった。そこで3人に対し4人の指導事務職員という体制で課題にとりくんだ。3人は複数配置の同一校等で個々の課題に対する指導を、1人は初任者を招集しての集団指導を担い、その成果や課題について発表された。』

退職や異動による本定職の配置が増加傾向にある。解消をめぐるとりくんでいる。青年層事務職員による組織の活性化が急務であるとの思いから組織された、事務職員部の小委員会(青年層事務職員5名と三役で構成)について報告された。

明石支部

『支部常任委員会が組織している「研修部」と「情宣部」のとりにくみについて報告された。』

支部常任委員会が組織している「研修部」と「情宣部」のとりにくみについて報告された。「研修部」では事務研究会のリポート作成、学習会の企画運営等、「情宣部」では部報の発行等、組織強化と運動の継承をめざした取り組みがおこなわれている。

教職員共済生協の年金共済なら、月々5,000円から始められます!
(年金共済・適格年金共済)

教職員共済生協の年金共済B型なら、無理のない金額から始められます! 積立中に資金が必要になったら一部取り崩すこともできるから安心です。

将来を考えると公的年金だけじゃやっぱり心配! 無理のない範囲で今からできることないかな。

ボーナス積立・任意積立を

現職中に積立

月々積立 月額5,000円以上1,000円単位で積み立てられます。*ご加入後に増額・減額もできます。

ボーナス積立 10万円以上1万円単位で積み立てられます。*ボーナス積立、任意積立は取崩し(一部解約)ができます

任意積立 任意で積み立てられます。

ご退職時に受取年金を決定

- 年金原資(積立金)が受け取りたい年金に足りない場合は、一時払いで原資を積み増しすることができます。
- 年金原資(積立金)が受け取りたい年金より多い場合は、超過分を一時金でお支払いします。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。 承11-企-46(1110)

資料のご請求等は **教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所** 〒650-0004 住所 神戸市中央区中山手通4-10-8 4F 電話 (078) 221-9730 FAX (078) 221-1199

検索 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>